

平成 21 年 3 月 6 日

## 山形県として第 3 号案件となる PFI 事業へのプロジェクトファイナンスによる融資契約の締結について 荘内銀行が単独主幹事を実施

株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「当行」）は、山形県の PFI 事業としては第 3 号案件となる、「山形県営通町団地移転建替等事業」（以下「本事業」）に対し、株式会社城北 PFI（本社：山形県米沢市、代表取締役：金子尚人、以下「当社」）との間で、プロジェクトファイナンス<sup>1</sup>による融資契約を締結しました。

本事業は、老朽化した通町団地の建替えにあたり、民間事業者が新しい県営住宅を設計・建設し、山形県へ所有権を移転後、同施設を 20 年間にわたり維持管理するものです（BTO 方式<sup>ii</sup>）。

当社は、PFI 事業である本事業を遂行するために、金子建設工業株式会社を代表企業、株式会社羽田設計事務所を構成員とするコンソーシアムが設立した特別目的会社（SPC）です。本事業の設計および工事監理業務を株式会社羽田設計事務所、建設、SPC の運營業務および維持管理業務を金子建設工業株式会社が当社より受託します。プロジェクト所在地である米沢市に所在する企業を中心にコンソーシアムを構成し、PFI の手法を活用することで、民間事業者の創意工夫を発揮し、効率的で効果的な事業遂行を行うことが期待されます。

当行は、アレンジャー<sup>iii</sup>及びエージェント<sup>iv</sup>として、本事業における適切なリスク分担を図るなど、本事業に最適なファイナンス・ストラクチャーを構築し、プロジェクトファイナンスの組成を実施いたします。本件は、当行が PFI 事業に対するプロジェクトファイナンスのアレンジャーとなる 2 例目の案件であり、単独主幹事としては初の案件です。

本事業に関わる当事者は、全て県内企業であり、地域経済の活性化の一助となるものと考えております。当行は、これからも「地域の発展と共にある銀行」として、地域の皆さまにとって真にお役に立つサービスの提供に努めてまいります。

以上

<sup>1</sup> プロジェクトファイナンス：プロジェクトファイナンスは、企業の信用力や不動産などの担保価値に依存するのではなく、経営ノウハウや技術力等に着眼し、事業そのものが生み出すキャッシュフローに返済原資を限定する融資形態です。

BTO：民間事業者が施設等を建設し、施設完成直後に公共施設等の管理者等に所有権を移転し、民間事業者が維持・管理及び運営を行う事業方式。この他に、BOT、BOO等の方式があります。

アレンジャー：プロジェクトファイナンスのアレンジメント（組成）と融資検討を行う立場を有する金融機関のことです。

エージェント：貸出人の業務代行を行う存在であり、当行ではキャッシュフロー口座の管理、担保管理及び貸出人の意思結集等の業務を担います。

本件に関するお問い合わせ先 法人営業本部 岡部 TEL：023-626-9019

つながります、人・夢・情報。 〒997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号 0235-22-5211（代表）

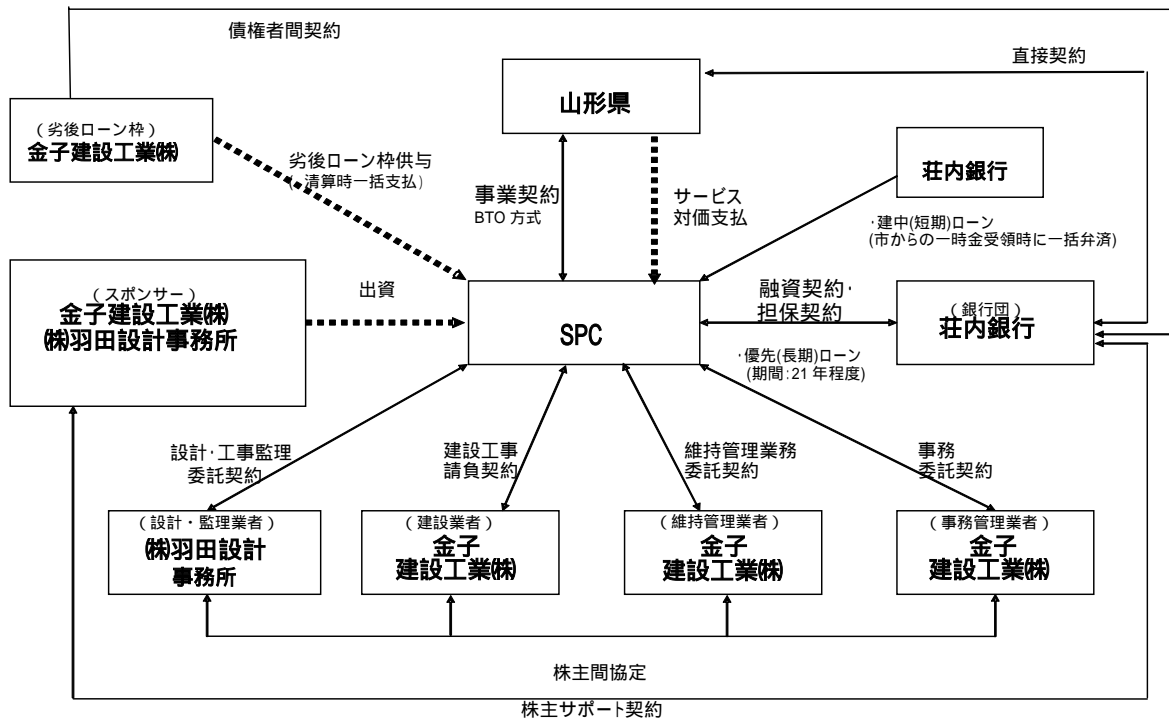


**荘内銀行**

<http://www.shonai.co.jp/>

株式会社 荘内銀行 登録金融機関 東北財務局長（登金）第6号 加入協会：日本証券業協会

(ご参考)  
[事業スキーム]



**[施設概要]**

- (所在地) 山形県米沢市城北2丁目3-2
- (構造) 地上2階、鉄筋コンクリート造
- (規模) 建築面積: 638.25 m<sup>2</sup> 延べ床面積: 1105.78 m<sup>2</sup>
- (施設内容) 住宅棟総戸数 16戸 (2DK: 12戸、3DK: 4戸)

つながります、人・夢・情報。 〒997-8611 鶴岡市本町一丁目9番7号 0235-22-5211 (代表)



**荘内銀行**

<http://www.shonai.co.jp/>

株式会社 荘内銀行 登録金融機関 東北財務局長(登金)第6号 加入協会: 日本証券業協会